

# 令和元年度 第2回水戸市立博物館協議会

日時 令和2年2月21日（金）  
午前10時30分から  
場所 水戸市立中央図書館  
3階視聴覚室

## 1 開 会

## 2 委員長あいさつ

## 3 議 題

### (1) 報告事項

- ① 企画展 「夏休み子どもミュージアム 水戸藩の学校」の結果について
- ② 特別展 「大正の漫画家・山田みのる」の結果について
- ③ 令和元年度教育普及事業の結果について
- ④ 令和元年度調査研究事業の結果について
- ⑤ 令和2年度の主な事業計画（案）について

### (2) 協議事項

- ① 特別展 「水戸の大地の成り立ちー水戸140億年史ー」の開催について
- ② 令和2年度博物館運営方針及び努力目標について

### (3) その他

## 4 閉 会

※ 閉会後に、特別展「水戸の大地の成り立ちー水戸140億年史ー」の会場をご覧  
いただく予定です。

## 水戸市立博物館協議会委員名簿

(任期：平成30年7月15日～令和2年7月14日)

氏名	役職等
長谷川 聡	市学校長会代表・鯉淵小学校校長
河原 将子	市文化振興協議会委員
和田 祐之介	市商工会議所名誉会頭
岡田 貴子	県生涯学習・社会教育研究会評議員
桐原 幸一	茨城生物の会副会長
小坪 のり子	県弘道館事務所学芸員・主任研究員
小菅 次男	茨城生物の会会長
笹目 礼子	県立歴史館副参事兼歴史資料課長
鈴木 暎一	茨城大学名誉教授
玉川 里子	学識経験者
塚原 正彦	筑波学院大学経営情報学部教授
藤 和博	県立石岡第一高等学校定時制課程教頭
藤本 陽子	学識経験者
吉川 明宏	茨城県教育庁総務企画部文化課主査
土田 記代美	市議会代表

順不同・敬称略

### 事務局名簿

氏名	役職等
白石 嘉亮	水戸市教育委員会事務局 教育部 歴史文化財課長
関口 慶久	同課 水戸市立博物館長（自然部門担当）
鈴木 雅人	同課 水戸市立博物館 学芸係長
坂本 京子	同課 水戸市立博物館 学芸員（民俗部門担当）
中村 有紀子	同課 水戸市立博物館 学芸員（美術部門担当）
藤井 達也	同課 水戸市立博物館 学芸員（歴史部門担当）
平井 佐知子	同課 水戸市立博物館 嘱託員

## 議題(1) 報告事項

### ① 企画展「夏休み子どもミュージアム 水戸藩の学校」の結果について

#### 1 概要

水戸藩では、藩校弘道館をはじめ、郷校（学）や私塾（学問塾）、寺子屋（手習塾）等多くの学校が作られ、学びの機運が高まった。水戸藩をはじめ、全国に作られた多様な学校は、江戸時代の高い教育水準の礎となり、日本の近代化の原動力となった。

こうした江戸時代の学校の特色を広く発信し、未来に伝えるため、本市では関係自治体とともに世界遺産登録に向けた取組を進めており、平成27年4月には、旧弘道館や日新塾跡をはじめとする学校等を構成文化財とし、我が国の特色ある学びのストーリーが日本遺産「近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—」に認定された。日本遺産認定以来、本市ではさまざまな機会を捉え、水戸藩の学校や学びの特色を紹介してきたが、水戸藩で展開された学びを物語る歴史資料を集めた展覧会を開催する機会はまだ設けられてこなかった。

そこで、本展覧会では、水戸藩の寺子屋（手習塾）で使われた机、教科書類、郷校（学）や私塾（学問塾）の教師や教室の様子を描いた絵、藩校弘道館での宿題等、当時の学校の様子を物語る資料を一堂に展示し、実物資料を通じて、子どもたちに水戸藩の豊かな学びの文化を体感してもらった。

#### 2 会期

- ・ 令和元年7月20日（土）～8月25日（日） 32日間  
月曜休館（ただし祝日に当たる場合は開館し、翌日を休館とした）

#### 3 会場

水戸市立博物館 4階展示室

#### 4 入場者数

1,890人

#### 5 関連行事

##### ① チャンバラしようぜ！

- ・ 日 時：令和元年7月21日（日）、8月18日（日） 13：30～15：30
- ・ 講 師：鈴木熊志・本田佳行（茨城県スポーツチャンバラ協会）
- ・ 会 場：3階視聴覚室
- ・ 参加者数：7月21日 20名 8月18日 11名

② 的をねらえ!!ゴム鉄砲作り

- ・ 日 時：令和元年8月3日（土） 13：30～14：30
- ・ 講 師：高村晴幸（水戸市立博物館ボランティア）
- ・ 会 場：3階視聴覚室
- ・ 参加者数：12名

③ キッズ・ギャラリートーク

- ・ 日 時：令和元年7月27日（土）、8月12日（月）、8月24日（土）  
各日とも11：00～11：30、14：30～15：00
- ・ 講 師：当館職員
- ・ 会 場：4階展示室
- ・ 参加者数：7月27日 午前7名 午後4名  
8月12日 午前9名 午後10名  
8月24日 午前4名 午後16名

④ 江戸工作にチャレンジ！

- ・ 日 時：令和元年8月4日（日）、8月17日（土） 13：30～15：00
- ・ 講 師：当館職員
- ・ 会 場：3階視聴覚室
- ・ 参加者数：8月4日 5名 8月17日 4名

## 6 アンケートについて

- ・ 会場で実施したアンケートの集計結果については、次頁のとおりである。

- ※ 項目
- 1 展覧会の広報について
  - 2 今回の展覧会について
  - 3 今後開いてほしい展覧会について
  - 4 博物館について
  - 5 回答者について

# 企画展「夏休み子どもミュージアム 水戸藩の学校」アンケート集計結果

## 1 展覧会の広報について

- この展覧会を何でお知りになりましたか？

ポスター	18人	その他 1 <招待> ・案内状 1
チラシ	20人	
広報「みと」	7人	
インターネット	6人	
新聞	8人	
雑誌・タウン誌	0人	
テレビ・ラジオ	12人	
人から聞いて	6人	
博物館・図書館に来てみて	15人	

## 2 今回の展覧会について

- ① 今回の展覧会の内容について、どう感じましたか。

よくわかった	42人	だいたいわかった	25人	普通	3人
少し難しかった	3人	難しかった	1人		

- ② 展示コーナーまたは展示資料の中で、一番印象に残ったものを教えて下さい。  
(上位3つのみ抜粋)

### ア 展示コーナー

寺子屋での子供の様子	8人	子供の遊び、いたずら	6人	弘道館、ワークショップ(工作)コーナー	4人
------------	----	------------	----	---------------------	----

### イ 展示資料

大宮郷校 しつけの様子	齊昭の子どもの書 黒澤止幾関係資料	当時の教科書 筆記用具	各2人
----------------	----------------------	----------------	-----

- ③ この展覧会に対するご意見やご感想をお聞かせください。(一部抜粋)

### ア 感想

#### (ア) 全体的なもの

<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な遺物やとてもきれいな絵が並べて展示されていて、とても目を楽しませていただきました。(20代 女性)</li> <li>資料を色々なところから集めてこられたようで、これだけ展示できると</li> </ul>
--

いうことは大変なことだったと思います。説明資料が丁寧でわかりやすかった。(60代 女性)

- ・とっても楽しかった!!友達と一緒にまた来たい!! (10代 女性)
- ・教育といっても様々な形があったということ,そこでの教えや内容も多様であったということ,特に子供たちがどのように臨んでいたのか等々興味深く拝見しました。(70歳以上 男性)
- ・子供に分かりやすい展示で,すばらしいと思います。これからも頑張ってください! (30代)
- ・水戸藩の教育にける情熱はすばらしいと感じました。教育の大切さを改めて考える機会となりました。ありがとうございます。(50代 女性)
- ・工作楽しかったです。(9歳以下 男性)

#### (イ) 展示について

- ・キャプションの工夫が素晴らしい。子どもたちが読んでわかるような平易な表現だが,実は大人にも非常にありがたい。細かい記載は読む気が失せてしまいます。(50代 男性)
- ・おもしろい。わかりやすく説明がついているのがうれしい。(10代 女性)
- ・子供も参加できるクイズで興味を持つことができ,今後役に立つと思いました。(40代 女性)

#### (ウ) 内容について

- ・寺子屋での子供の様子や当時の子どもたちのいたずらが記録に残っていることに驚きました。(60代 女性)
- ・寺子屋の様子を描いた絵が面白かった。今も昔も子どもの無邪気さが伝わってきました。
- ・現在では「イジメ」になることも(遊びとなっていて)昔はおおらかでしたね。でもそのような経験が,イジメを無くすことになったのかもしれない。(60代 女性)
- ・大宮郷校のことを初めて知った。(60代)

### イ 意見

#### (ア) 展示について

- ・文字はいくらあっても読めないなので,どうしても見て流すだけになる。訳文が大きい文字で必要,全部でなくてもいいので。(50代 男性)
- ・古い文書は理解できないので,現代文にしたものもつけてほしい。(70歳以上)
- ・現代の地図と各時代の地図を比較できるような企画があると楽しいので

は？ (60代 女性)

- ・現代との比較もおもしろいかも。(50代 男性)
- ・説明が多いので、何か見て理解できた方がいいかな。(40代 女性)

(イ) 内容について

- ・子どもたちには難しいと思います。(40代 女性)
- ・子供向けの展覧会なのか、大人向けの展覧会なのか、中途半端な感じがした。私は、大人向けの展覧会なのかなと感じた。小学生には、少し興味がもてない部分があるのではと思われた。(70歳以上)
- ・学校の夏休み期間の開催では、何か子どもたちが喜ぶあるいは興味のある企画がいいと思う。(40代 女性)
- ・このように教育に焦点を絞った展覧会はもっと力を入れてほしい。(60代 男性)

(ウ) 関連行事について

- ・展示のご説明がわかりやすく、楽しく拝聴させていただきました。(50代)

### 3 今後開いてほしい展覧会について

① 歴史関係

- ・古代の水戸にも興味があります。埋蔵文化財センターはまだ行ったことがないので、協力して展示などしていただけるとありがたい。(50代 女性)
- ・戦国時代 (60代)
- ・佐竹氏時代の水戸市 (50代 男性)
- ・水戸城下の様子 (60代 男性)
- ・藤田幽谷親子や武田伊賀以外の藩士 (特に諸生派) (50代)
- ・3代から8代藩主の事蹟を資料から詳しく知りたいです。(50代)
- ・街道の様子 (60代 男性)
- ・弘道館記 (40代 男性)
- ・「水戸城遙かなり」展第二段 (50代)
- ・千波湖関連 (柳堤や渡船の展示) (50代)
- ・昔の鉄道 (9歳以下 男性)
- ・水戸農村地のくらし (40代)
- ・市街地の移り変り (70歳以上 男性) 他1名
- ・以前のように夏は戦争関連の展示をしてもらいたい。特に沖縄。(70歳以上) (50代 女性)

## ② 民俗関係

- ・庶民の食生活（70歳以上 男性）
- ・子供たちの遊び（70歳以上 男性）
- ・オセロの歴史と世界中のボードゲームについて（10代 男性）
- ・「いだてん」の頃の水戸（50代 女性）
- ・アニメ、ゴジラなど（9歳以下 男性）
- ・水戸の商店街が輝いていた時代（50代）

## ③ 自然関係

- ・千波湖の自然（30代）
- ・水戸市の自然展示をもっと増やしてほしいです（30代）
- ・ジオパーク再認定のための県北ジオパーク展（60代 男性）

## 4 博物館について

### ① 今まで博物館に来たことはありますか？

よく来る	14人
何度か来たことがある	33人
あることは知っていたが来たことはなかった	8人
あることを知らなかった	11人

### ② 博物館の全体的な展示、施設、運営などについて、ご意見やご希望がございましたらお聞かせください。

#### ア 展示について

- ・一般的な昭和の展示だけでなく、水戸ならではのものがあってもいい。「てんおん」とか。（50代 女性）

#### イ 施設について

- ・入口から入って右奥の空調の吹き出し口がカチャカチャと音がして、博物館にしてはどうかと思いました。（50代 男性）
- ・駐車に困った。（70歳以上 男女）
- ・図書館と博物館を物理的に独立させた方が目立つと思います。（10代 男性）

#### ウ 運営について

- ・無料であることに驚きました。ありがとうございます。（50代 女性）



## 5 回答者について

### ① お住まい

水戸市	37人	常陸大宮市	1人
ひたちなか市	6人	常陸太田市	2人
那珂市	1人	取手市	1人
茨城町	2人	東京都	1人
小美玉市	1人	千葉県千葉市	1人
高萩市	1人	神奈川県	1人
日立市	10人	福岡県	1人
高萩市	1人	その他市外	4人

### ② 交通手段

電車	6人	バイク	0人
バス	7人	自転車	5人
自家用車	48人	徒歩	14人
タクシー	0人		

### ③ 性別

男性	31人	女性	25人
----	-----	----	-----

### ④ 年齢

9歳以下	8人	40代	8人
10代	8人	50代	11人
20代	1人	60代	14人
30代	6人	70歳以上	13人

## 議題(1) 報告事項

### ② 特別展「大正の漫画家・山田みのる」の結果について

#### 1 概要

水戸出身の大正時代の漫画家・山田みのる(1889-1925)を取り上げた。

山田みのるは、東京美術学校で洋画を学んだ後、新聞や雑誌へ漫画を描いて活躍した人物であり、展覧会では、学生時代に描いた油彩画や、東京朝日新聞に掲載された風刺漫画の原画8点を含め、初期から晩年までの作品を約40点展示し、これまであまり知られてこなかった画業と生涯に光を当てることができた。

さらに、山田みのると交流のあった漫画家のうち、北沢楽天(1876-1955)・岡本一平(1886-1948)・服部亮英(1887-1955)の3名の作品を展示し、彼らを含む漫画家団体「東京漫画会」のメンバー18人による合作『東海道五十三次漫画絵巻』(全55点)も展示することで、大正時代の漫画界の動向の一部にも触れることができた。

#### 2 会期

- ・ 令和元年10月20日(日)～11月24日(日) 合計31日間(休館日を除く)

#### 3 会場

- ・ 水戸市立博物館 4階展示室

#### 4 入場者数

1,164人

#### 5 会期中の図録販売数

・「大正の漫画家・山田みのる」	55冊
・その他展覧会図録	46冊

#### 6 関連行事

##### (1) 講演会「時代と人が生み出す風刺とユーモア 日本近代漫画の展開」

- ・ 明治時代から昭和時代初期までの日本の漫画の歩みと、大正時代の漫画界の動向について、実際に新聞や雑誌に掲載された作品の画像を用いて講演いただいた。
- ・ 実施日：令和元年11月17日(日)
- ・ 会場：3階 視聴覚室
- ・ 講師：湯本 豪一(漫画史研究者・元川崎市市民ミュージアム学芸室長)
- ・ 参加者数：19人

(2) ギャラリートーク

- ・ 担当学芸員が会場内で展示の解説を行った。
- ・ 実施日：令和元年10月26日(土)・11月4日(月・休)・11月23日(土・祝)
- ・ 会場：4階展示室
- ・ 参加者数：47人(10月26日：9人／11月4日：16人／11月23日：22人)

**7 アンケートについて (回答者数：28人)**

- ・ 会場で実施したアンケートの集計結果については、次頁のとおりである。

- ※項目
- 1 展覧会の広報について
  - 2 今回の展覧会について
  - 3 今後開いてほしい展覧会について
  - 4 博物館について
  - 5 回答者について

## 特別展「大正の漫画家・山田みのる」アンケート集計結果

### 1 展覧会の広報について

- この展覧会を何でお知りになりましたか？

ポスター	5人
チラシ	10人
広報「みと」	5人
インターネット	3人
新聞	1人
雑誌・タウン誌	2人
テレビ・ラジオ	0人
人から聞いて	0人
博物館・図書館に来てみて	5人

その他 各1人

- ・近隣の美術館で知った
- ・水戸駅の看板
- ・いばらきミュージアムガイド
- ・家族に誘われて
- ・団体見学で

### 2 今回の展覧会について

- ① 今回の展覧会の満足度はどうでしたか。

満足	17人	やや満足	10人	普通	1人
やや不満	0人	不満	0人		

- ② この展覧会に対するご意見や感想をお聞かせください。(一部抜粋)

- ・岡本一平は知っていても山田みのるは知らなかった。
- ・水戸市出身でこのように活躍した人物がいたこと、その作品が大変興味深く、まったく知らなかったが、作品を見ることができてとても良かった。
- ・水戸の八幡町の人物で、大正時代にこんなに活躍した人がいたとは知らなかった。友人にチケットをもらって来たが良かった。
- ・山田みのるをあまり知らないでいた。35歳で死亡したことが残念。岡本一平・池部鈞の時代に交流があったことがよく分かった。関東大震災時代の時代風刺に感銘した。資料が豊富に保存されている。祇園寺の墓石に参りたいと思う。
- ・以前の安泰展の時もそうだったが、身近にこんなに活躍した人がいるなんて知らなかったので、有難かった。
- ・水戸にこんなすごい人がいるなんて知らなかったのでびっくりした。35歳の人生でこんなに色々書いていて、もっと他の作品も見たくなった。まるで日本のドゥーミエだ。
- ・彼の生きていた時代の新聞(雑誌)等は、読者層は所謂、知識層、富裕層だったのだろう。彼の求めた笑い(ユーモア)は、シニカルな知的遊戯の世界なのか。

- ・ 戦争に向かう厳しい時代にもこんなユーモアを解せる人間がいたとはおどろいた。ためになった。
- ・ 大正時代の雰囲気少し分かった様な気がする。
- ・ さいたま市の北沢楽天と関係があり、親しみを感じた。
- ・ 詳細に記載されていて当時の情景が分かり、大変意義のある記事だった。
- ・ 当時の世相を反映した風刺のきいた漫画に感心させられた。
- ・ 昔の漫画家を知れてよかった。社会の学習にもなる。
- ・ 風刺絵の良い勉強になった。
- ・ 気軽に見られる規模と料金だと思った。
- ・ 楽しかった。
- ・ 面白い。
- ・ ユーモアがあり面白かった。
- ・ とても素晴らしかった。
- ・ とても静かで見やすいと思った。

### 3 今後開いてほしい展覧会について

- ・ 地元出身者の内容がいい。
- ・ 茨城出身で、現代に活躍している芸術家の展覧会。
- ・ 郷土出身の作家、画家を取り上げてほしい。
- ・ 地元(県内・市内)の人物や土地の歴史等を知ることができるもの。
- ・ 伊藤若沖、葛飾北斎。
- ・ 世界の飛行機の写真の展示。
- ・ 水戸市の台渡里の歴史と現在までの経緯。
- ・ 今と昔の著名人・歴史・自然・食物等。
- ・ 水戸の歴史を面白く分かる企画展があると良い。
- ・ 幕末の水戸について。
- ・ 良い企画を望む。
- ・ 東京では有名だった雪村。茨城ではあまり知られていない。
- ・ 行方出身の作家・出久根達郎について取り上げてほしい。

### 4 博物館について

① 今まで博物館に来たことはありますか？

毎月	1人
年に何回か	18人
年に1回くらい	3人
数年に1回くらい	0人
初めて来た	5人
その他 2回目の来館	1人

② 水戸市立博物館の魅力度についてどう感じましたか

魅力的	10人
やや魅力的	5人
ふつう	10人
やや魅力不足	2人
魅力がない	0人

③ 博物館の全体的な展示，施設，運営などについて，ご意見やご希望がございましたらお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・アットホームで静かでぬくもりのある雰囲気が良い。</li> <li>・落ち着いた雰囲気が良い。</li> <li>・これからも素敵な展示を希望する。</li> <li>・イベント情報など，チラシを楽しみにしている。また来館したい。</li> <li>・郷土関係のシンポジウムなど開催していて慰労申し上げる。</li> <li>・一般の絵や写真展など，または障害者や海外の絵や写真展なども見たい。</li> <li>・映像などを見せてくれるコーナーがあれば，ゆっくり見ることが出来ると思う。</li> <li>・もう少し遅くまでやってほしい。</li> <li>・もっと積極的に企画をやるべき。古い。</li> <li>・もう少し充実しても良い。</li> </ul>
---

5 回答者について

① お住まい

水戸市	20人	ひたちなか市	2人
日立市	1人	土浦市	1人
茨城町	2人	その他県内	1人
さいたま市	1人		

② 性別

男性	15人	女性	8人	無回答	5人
----	-----	----	----	-----	----

③ 年齢

9歳以下	1人	40代	2人
10代	4人	50代	6人
20代	1人	60代	6人
30代	1人	70代以上	7人

## 議題(1) 報告事項

### ③ 令和元年度教育普及事業の結果について

#### 1 学校連携事業（令和2年2・3月予定分を含む）

##### ① 体験講座・見学等

内 容	校数	内 訳	人数	備 考
むかしの道具の実体験講座と博物館見学	26	小学校 24 義務教育学校 0 盲学校 1 聾学校 1	1,505	小学3年生
社会科（戦争）出前授業	1	小学校 1	93	小学6年生
博物館見学	6	中学校 4 高校 1 大学 0 その他 1	138	
職場体験	1	中学校 1	4	中学2年生
合計	34		1,740	

##### ② 学校への資料の貸出

資料の種類	校数	内 訳	資 料 内 容
戦争関係資料	5	高校 5	写真パネル，軍服， 焼夷弾，艦砲弾破片， 手榴弾，千人針等
むかしの道具	1	小学校 1	たらい，洗濯板，火 のし，炭火アイロン
合計	6		

#### 2 ぴ～すプロジェクト

##### ① ぴ～すクイズ

- ・ 期間：令和元年8月1日（木）～8月31日（土）
- ・ 会場：水戸市立博物館，水戸市平和記念館，水戸芸術館
- ・ 内容：3館でスタンプラリーを実施（博物館はクイズ参加者にスタンプ）
- ・ クイズ参加者：75人 博物館での景品引き換え者：19人

② わたしは戦争を忘れない—昭和 20 年 8 月「あの日」の記憶—

期 日	話 者	参加人数
8 月 2 日	岡田志朗氏, 森 彦昭氏	99
8 月 15 日	大谷岩男氏, 柏 俊子氏	125
合計		224

会場：県立歴史館講堂

③ 紙芝居「茂木貞夫物語」上演

- ・ 期日：令和元年 8 月 11 日（日）
- ・ 会場：博物館 2 階展示室
- ・ 講師：見澤淑恵氏, 茂木貞夫氏
- ・ 参加人数：59 名

### 3 地域連携事業

① デゴフェス 2019 スタンプラリー

- ・ 期間：令和元年 5 月 5 日（日）～ 5 月 6 日（月）
- ・ 内容：千波湖デゴイチ展示場と市立博物館を巡り、クイズに答えてスタンプを集め、景品と交換する。  
※ 千波湖デゴイチ展示場では、「デゴイチを守る会」が「デゴフェス 2019」を実施しており、博物館所蔵の茨城鉄道のパネル展示を実施した。
- ・ 参加者：博物館での景品引き換え 20 人  
※ 景品 以前の展示で使用したフクロウ人形

② 第 2 回まちなかたんけんスタンプラリー

- ・ 期間：令和元年 7 月 23 日（火）～ 8 月 8 日（木）
- ・ 内容：参加施設（水戸市大町子育て支援・多世代交流センターわんぱく・みと、NHK 水戸放送局など 7 か所）のうち 4 か所以上を巡り、クイズに答え、景品と交換する。
- ・ 参加者：183 人（博物館で提供した景品 みと歴史探訪パンフレット）

### 4 その他

① みと歴史講座

テーマ	期 日	講 師	参加人数
石河明善と「石河明善日記」	11 月 3 日	久信田喜一氏	23
「石河明善日記」を読む	11 月 10 日	笹目 礼子氏	32
合計			55



② 自然観察会

テーマ	場 所	期 日	講 師	参加人数
春の植物観察会	逆川緑地	4月27日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	23
夏休み昆虫観察会	逆川緑地	7月7日	佐々木泰弘氏	21
秋の植物観察会	逆川緑地	10月19日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	雨天中止
冬芽・葉痕の観察会	逆川緑地	12月7日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	13
千波湖野鳥観察会	千波湖畔	1月25日	後藤俊則氏	12
合計				69

③ かえっこ

名 称	期 日	参加人数
夏休みかえっこ	8月10日	419
クリスマスかえっこ	12月8日	323
合計		742

④ その他の講座

講 座 名	期 日	講 師	対 象
甦る水戸城	6月21日	藤井達也	石川地区高齢者クラブ連 合女性委員会 20人
中世の水戸城	7月6日	関口慶久	牛久歴史リレー講座 80 人
水戸城址を巡る歴史探訪 ツアー	7月11日	関口慶久	水戸商工会議所 水戸ま ちなかゼミ&まちカル 20人
近世の学校と弘道館	8月1日	関口慶久	弘道館仮開館記念講座 20人
水戸城大手門・二の丸角 櫓の復元について	8月6日	関口慶久	水戸市教育会社会科研究 部研修会 50人
水戸城と城下町	8月18日	関口慶久	水戸市視覚障害者協会 60人
探訪・水戸の歴史	9月13日	関口慶久	赤塚中学校水戸探訪全体 学習会 120人
親子で遊ぼう！	10月5日	坂本京子 ボランテ ィア6名	あさひ幼稚園園児及び保 護者 800人

源氏物語女人絵巻 春の人・紫の上の生涯	10月9日	坂本京子	五軒女性教養講座 30人
よみがえる水戸城	11月3日	関口慶久	東部図書館歴史講座 80人
水戸城大手門・二の丸角櫓の復元について	11月15日	関口慶久	那珂市文化財愛護協会 20人
水戸城大手門等の復元整備	11月22日	関口慶久	常磐歴史研究会 30人
水戸城大手門等の復元整備	12月22日	関口慶久	お城EXP02019 40人
源氏物語女人絵巻 貴公子たちの雨夜の品定め・夕顔	1月23日	坂本京子	三の丸女性教養講座42人
水戸城周辺の歴史まちづくりと観光振興について	2月9日	関口慶久	水戸商工会議所中部ブロック協議会 30人
源氏物語女人絵巻 明石の君・千々にみだれる心	2月20日	坂本京子	五軒さわやか学級20人
水戸城まちあるき	3月28日	関口慶久	水戸商工会議所

⑤ 学校以外への資料の貸出（令和2年1月31日現在）

資料の種類	件数	内 訳	資 料 内 容
自然資料	1	東海村立図書館	昆虫標本等21点
歴史資料	4	夤賓閣復元研究会 子育て応援・ペンギンくらぶ 茨城県立歴史館 北茨城市歴史民俗資料館	夤賓閣図1点 焼夷弾筒1点、防空頭巾1点 石河家資料5件（44点） 武石家文書16点
美術資料	3	国立国際美術館他2館 茨城県立近代美術館 常陽藝文センター	ボルタンスキー作品1点 横山大観「水温む」1点 横須賀幸男1点

⑥ 写真・画像使用の許諾（令和2年1月31日現在）

資料の種類	件数	内 訳	資 料 内 容 (使 用 場 所)
歴史資料	15	映像 4	・空襲後の水戸郵便局前 1点 (NHK映像ファイル あの人に会いたい 深作欣二さん)

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・横山大観写真 2点 (いきいき茨城ゆめ大会 プログラム映像)</li> <li>・水戸城下絵図 1点 (テレビ東京「モヤモヤさまぁ〜ず2」)・錦絵「耕雲斎筑波山籠」1点 (とちぎテレビ「U字工事の旅!発見」)</li> </ul>
		プロジェクト 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和11年水戸市航空写真 1点 (弘道館イベント)</li> <li>・救民妙薬 1点 (県民大学講座)</li> <li>・芝山家文書 2点 (まちづくりシンポジウム)</li> <li>・芝山家文書 2点 (講演会)</li> </ul>
		デジタル掲載 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庶物会要 1点 (七面会HP)</li> <li>・水戸城三階櫓古写真 1点 (城びとHP)</li> <li>・快風丸復元想定模型 1点 (商船三井フェリー広告)</li> <li>・ポスター「開け満蒙の大沃野 満蒙開拓青少年義勇軍」1点 (『明解 歴史総合』デジタル教科書)</li> </ul>
		書籍掲載 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水戸城下絵図, 水戸城三階櫓絵葉書, 旧水戸城薬医門写真各1点 (「茨剣連廣報」第61号)</li> <li>・石河明善日記1点 (『玉造史叢』第61号)</li> </ul>
		広報印刷物掲載 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空襲後の水戸郵便局前 1点 (子育て応援・ペンギンくらぶチラシ)</li> </ul>
美術資料	11	デジタル掲載 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五百城文哉作品2点 (青梅市立美術館ホームページ)</li> </ul>
		広報印刷物掲載 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五百城文哉作品9点 (青梅市立美術館ポストカード, 年間計画, 日本経済新聞)</li> </ul>

## 議題(1) 報告事項

### ④ 令和元年度調査研究事業の結果について

#### 1 博物館資料「石河明善日記」刊行事業

- ① 水戸市立博物館資料調査・研究収録第1集『石河明善日記 第1巻』
  - ・ 刊行部数：300部（うち販売部数160部）
- ② 石河明善日記解読定例会
  - ・ 全17回開催

#### 2 令和元年台風19号により被災した歴史資料の保護・保存について

##### ① 趣旨

令和元年10月12日夜から13日未明にかけて県内を通過した令和元年台風19号により、水損等の被害を受けた市内の歴史資料について、本市における災害復旧方針や所有者の意向に添いながら、文化庁や国立文化財機構、文化財レスキュー団体等と連携し、できうる限りの保護・保存を図る。

##### ② 具体的な方策

###### ア 市民への喚起

- ・ チラシ・広報みと・ホームページ等において、被災した歴史資料の保護・保存の喚起を行った。

###### イ 文化財レスキュー団体との連携

- ・ 茨城史料ネットに協力要請及び支援を行い、被災した歴史資料の保全を図った。

## 議題(1) 報告事項

### ⑤ 令和2年度の主な事業計画(案)について

<b>戦後75年企画展(夏休み子どもミュージアム)</b>
語り部・戦争関係資料所蔵者の方々から、戦地や内地の資料、口述資料など幅広い資料を収集・記録・展示し、子どもたちに戦争が招く悲劇を感じ取れる展示を実施する。
<b>開館40周年記念 秋季特別展「ざんねんな鳥展」(仮称)</b>
ベストセラー児童書『ざんねんないきもの事典』と提携し、「ざんねん」を切り口にして、博物館が注力してきた“鳥”をはじめ、水戸の生き物を紹介する。
<b>開館40周年記念 冬季特別展「昭和浪漫 思い出の宝石箱」(仮称)</b>
昭和30～40年代の暮らしの変化について、市民から寄贈された民俗資料と当時の風俗を再現した創作人形でたどる。

## 議題(2) 協議事項

### ① 特別展「水戸の大地の成り立ち—水戸140億年史—」の開催について

#### 1 概要

日本列島の成り立ちは、1960年代以降のプレート・テクトニクスの研究等により、飛躍的に理解が進みました。そして近年、ユネスコ世界ジオパーク・日本ジオパーク認定や、各地におけるジオツアーの開催等を通して、郷土の大地の成り立ちへの興味・関心は全国的に広がっています。

こうした中、郷土の大地の歴史について、限られた時代や地域の情報で理解するのではなく、宇宙の起源から未来までの気が遠くなるような歴史や空間の中で理解する「ビッグヒストリー」という考え方が主流となりつつあります。

豊かな緑と水に囲まれた水戸もまた、宇宙や地球全体の成り立ちと深く関わりながら形成されました。悠久の宇宙・地球の歴史の中で、水戸の大地がどう形成され、今後どう変化していくのか——こうした、これまでにないダイナミックな歴史は、郷土水戸の新たな発見につながることでしょう。

そこで本展覧会では、宇宙科学・地質学・古生物学・考古学等、ビッグヒストリーに基づく関連資料を展示し、138億年前の宇宙の誕生から、2億年後のアメーリア超大陸が形成されるまでの、140億年間に及ぶ水戸の歴史を辿るものです。

## 2 会期

令和2年2月9日（日）から3月15日（日）まで 31日間

## 3 会場

水戸市立博物館4階展示室

## 4 主な展示資料

- ・流星刀（東京農業大学図書館所蔵）
- ・ハイパーボリックファンネル（日立市所蔵）
- ・火星起源隕石・月起源隕石（国立極地研究所所蔵）
- ・つくば隕石（複製・地質標本館所蔵）
- ・小惑星探査機はやぶさ関係資料（複製・JAXA所蔵）
- ・アカスタ片麻岩（地質標本館所蔵）
- ・ティラノサウルス全身復元骨格（パレオサイエンス所蔵）
- ・ヒタチナカリュウ化石（複製・茨城県自然博物館所蔵）
- ・ステゴロフォドン化石（複製・茨城県自然博物館所蔵）
- ・国史跡泉坂下遺跡出土メガロドン化石（常陸大宮市教育委員会所蔵）
- ・偕楽園周辺産出マッコウクジラ類化石（国立科学博物館所蔵）
- ・偕楽園周辺産出アロデスムス（ミトアザラシ）化石（国立歴史民俗博物館所蔵）
- ・国天然記念物養老川流域田淵の地磁気逆転地層（チバニアン）関係資料（茨城大学理学部・市原市教育委員会所蔵）
- ・猿人・原人・旧人化石（複製・国立科学博物館所蔵）
- ・国史跡大串貝塚出土遺物・県史跡笠原水道出土岩樋（市埋蔵文化財センター所蔵）
- ・全地球アトラス映像（国立遺伝学研究所提供）
- ・赤色立体図（アジア航測提供）
- ・カンブリアソード（VAGUES GAMES提供）
- ・惑星地球フォトコンテスト受賞作品（日本地質学会所蔵）等

## 5 関連行事

- (1) ティラノサウルス全身復元骨格の組立て見学会
  - ・ 日時：令和2年1月18日（土）
- (2) 特別講演会
  - ・ 日時：令和2年2月15日（土）13：30～15：00
  - ・ 講師・演題：天野一男氏（茨城大学名誉教授）「水戸140億年史」
  - ・ 場所：水戸芸術館会議場
- (3) 県内ジオツアー
  - ・ 日時：令和2年2月27日（木）

「日本最古の地層とアンモナイトの海を巡る」

- ・ ガイド：天野一男氏（茨城大学名誉教授）
- (4) 市内ジオツアー
- ・ 日時：令和2年2月22日（土）「千波湖周辺のジオを歩く」  
3月7日（土）「逆川周辺のジオを歩く」
  - ・ ガイド：西原昇治氏（ジオネット水戸・大洗インタープリター）
- (5) ワークショップ
- ・ 日時：令和2年2月16日（日）、24日（月・祝）、3月8日（日）
  - ・ 内容：砂に学び砂絵と恐竜ジオラマづくり（おもしろ理科先生）  
ジオガシキッチン教室（ジオガシ旅行団）  
ロックバランシング体験（石花会）
- (6) ギャラリートーク
- ・ 日時：令和2年2月23日（日）、2月29日（土）、3月15日（日）

## 議題(2) 協議事項

### ② 令和2年度博物館運営方針及び努力目標（案）

#### 運営方針

郷土水戸に関わりのある自然，歴史，民俗，美術等の資料を収集・保管し，調査・研究を行う。

また，展覧会の開催等を通して，郷土の歴史や文化，自然にふれることのできる機会を提供するなど，地域，学校との連携のもと，市民が楽しむことのできる教育普及事業の充実に努める。

#### 努力目標

##### 1 特別展等の開催

- (1) 特別展・企画展等を年3回開催して，郷土の歴史や文化，自然に対する新たな視点からの興味・関心を呼び起こし，市民文化の向上に努める。
- (2) 展覧会の関連行事など博物館外での活動を実施して，展示の補完に努める。

##### 2 収蔵品等による常設展の開催

- (1) 調査・研究・展示等に活用するため，郷土に関する自然・歴史・民俗・美術等の資料の収集に努める。
- (2) 新たに収集した資料の公開を積極的に行うなど，常設展の展示内容の充実に努める。

##### 3 博物館資料「石河明善日記」刊行事業の推進

- (1) 「石河明善日記」第3巻（11～15冊）を刊行し，平成24年度より解読を進めてきた成果の公表に努める。

##### 4 学校等との連携事業の推進

- (1) 小学校等の校外学習としての博物館見学を受け入れて，むかしの道具の実体験講座を実施するほか，出前授業や資料の貸出を行うなど，学校教育との連携に努める。

##### 5 各種教育普及事業の推進

- (1) 戦争体験者による語り部事業である「わたしは戦争を忘れない」を実施し，平和の大切さを啓蒙するとともに，記憶が風化しないよう記録に努める。
- (2) 自然観察会など博物館外での活動を実施して，市民が楽しむことのできる教育普及事業の充実に努める。